

# 一般社団法人静岡県測量設計業協会

## 第517回 理事会議事録

日時 令和2年1月22日（火） 13:00～15:15

場所 （一社）静岡県測量設計業協会会議室

出席者（理事）藤山義修、鈴木達美、山村卓道、宮島直久、亀谷寧一  
小澤和宏、近藤拓己、鈴木正明、松井藤雄、望月良明  
（監事）鶴田忠男

理事10名のうち10名が出席し、定款第32条第1項による定足数に達している。

議長 定款第31条第1項の規定により、藤山義修会長が議長となる。

### 議事経過の概要とその結果

#### 議題1 令和元年台風19号に関する全測連からの災害支援金の取扱いについて

望月事務局長から全測連の支援金の受領理由や他県の取扱い、県交通基盤部河川砂防局の提案の説明があり、理事会は審議した結果、県を通じて全市町に災害復旧に関する図書を寄贈することとした。

#### 議題2 測量法施行規則の一部改正する省令に伴う協会会費請求根拠資料の提出

望月事務局長から来年度からの様式の説明があり、理事会は様式の修正を行うことで了承した。ただし、2月予定の公布を確認してから対応することとした。

#### 議題3 協会事務局の複合機の新機種への交換及び2台を1台に統合

望月事務局長から交換の説明があり、理事会は交換することを前提に追加オプションの見積を確認してから決めることとした。

#### 議題4 総合評価落札方式（建設関連業務）の業種の追加（測量）

望月事務局長は、資料の経緯及び当初との業務内容や発注方式の比較を説明した。藤山会長からも説明があり、理事会はこれを承認した。

このあと、担当である静岡県建設技術監理センター所長の説明を受けた。

## 議題5 沼津土木との大規模災害時の対応勉強会について

望月事務局長から勉強会の経緯とマニュアル案の説明があり、勉強会に参加している鈴木副会長と鈴木理事の意見も加え、今後の進め方を議論した。審議の結果、建コン協、もくせい会、静測協の3者の各2名によるプロジェクトチームを作り進める提案があり、今後関係者に相談していくこととした。

## 議題6 「2020年全測連交流会 in 北海道」の対応について

望月事務局長から全測連の来年度の交流会の説明があり、検討した結果、正副会長の2～3名の参加で今後詰めることとし、理事会は一人当たり2万円、最大6万円を協会が負担することで了承した。

## 報告

### 1 「測量の日」中部地区連絡協議会実行委員会（12月6日）報告

望月事務局長は小澤理事とともに参加し、来年度の「測量の日」記念講演会は、担当となる三重県測協が行うと報告した。

### 2 静岡県交通基盤部優良業務委託表彰（1月30日）について

望月事務局長は、内容を説明して、会長が来賓として参加することを報告した。

### 3 県西部農林技術講習会（2月3日北遠総合庁舎）

望月事務局長は内容を説明し、参加希望者には直接申込みをお願いした。

### 4 中部地整への全測連中部地区協議会の要望（2月の予定）

望月事務局長は「要望会」となった理由を報告し、会長または代理が出席することとした。

### 5 地図教室紹介資料について

望月事務局長は、会員が勧誘できる資料を作成したことを報告した。

### 6 行事予定表

望月事務局長が、主な日程を報告した。

## 7 その他

- ・品確法運用指針改正案を自民党の議員連盟が了承した報告
- ・県建設技術監理センターの「協働による地域づくり発表会」の開催案内
- ・2月6日の独禁法遵守研修会の参加人数の報告
- ・清水港開港120周年記念事業シンポジウム2件とクリーン作戦の紹介

以上の議事が正確であることを証するため、定款第33条第2項の規程により出席した会長及び監事が記名押印する。

令和2年2月22日

会 長  
代表理事 藤 山 義 修 ⑩

監 事 鶴 田 忠 男 ⑩